

令和7年度重点目標の取組実績と来年度の方向性

令和7年度第2回国保運営協議会
資料3

重点目標	取組事項	実績及び効果	来年度の方向性
(1)医療費等の適正化と健康増進	特定健診・特定保健指導の推進	特定健診実施率 37.0%(R5年度同率) 特定保健指導実施率 22.5%(3.5ポイントアップ) ※R6年度実績	継続課題として、R8年度も引き続き重点目標とし、医療費適正化に向けた取組を強化していく。併せて、マイナ保険証の制度と利用促進に向けた周知を引き続き行う。
	糖尿病の重症化を防ぎ医療費の適正化へ	糖尿病患者の透析患者数 99人(R6年度同数) [うち新規件数 20人(R6年度+1)]	
	ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品利用率 85.1%(7.3ポイントアップ)	
	高齢者の服薬情報提供事業	お知らせの通知枚数872人、残薬整理相談回数42人 (R7.12時点)	
	向精神薬の重複処方防止に向けた取組みの継続	1人当たりの向精神薬の処方医療機関数 R7.6～8月診療 9.5医療機関 (R6.11月～R7.1月診療 20.75医療機関)	
(2)保険料収納率の向上	口座振替原則の徹底による現年収納の健全化	・口座振替率 37.25%(1.58ポイントアップ) ・口座振替原則の案内について窓口オペレーションの検査を実施。口座振替啓発のためのポスターを作成中。	継続課題として、R8年度引き続き重点目標とする。「外国人滞納者対策」は、R8重点目標に位置づけ対応強化していく。
	効率的な催告、財産調査、差押、執行停止の実施	催告:6月、8月、11月に一斉文書催告を実施 財産調査等:電子預金照会の拡充(11月末現在で昨年同月比4,500件増)、執行停止・差押えは2月以降集中的に実施予定	
	外国人滞納者対策の強化	ミャンマー語架電開始(納付案内センター)900件実施 TikTok(10万再生)やYOUTUBE(500再生)等を活用した国保制度の周知	
(3)デジタル化の推進	電子申請の拡大	・電子申請の導入実績:10手続きをHPで公開 ・利用件数:3,885件	「デジタル化の推進」は、各目標を達成する手段と位置付け、それぞれの各重点目標の取組事項にて継続して取り組んでいく。
	住民記録システムの活用【令和7年度新拡提案事業】	・在留期限更新に伴う来庁者数 84%減 (R6.12時点 4,800人、R7.12時点 771人) ・システム活用による上記対象の証発行数 約2倍 (R6.12時点 4,800件、R7.12時点 9,327人)	
(4)法改正対応	保険証の有効期限終了に向けた対応	・資格確認書等の一斉送付(7月)、保険証有効期限終了(9月)において大きなトラブルなし ・医療機関等でのポスター掲示、広報とし、HPトップへの掲載等による周知を実施	R8年度も引き続き制度改正が発生するため、引き続き重点目標とする。
	国民健康保険標準システム移行	・令和8年1月に以下システムを標準仕様書準拠のシステムに移行した。括弧内は準拠した標準仕様書の名称。 ・国民健康保険システム(国民健康保険) ・滞納管理システム(統合滞納管理)	



R8重点目標	取組事項
(1)医療費等の適正化と健康増進	特定健診・特定保健指導の推進
	糖尿病の重症化を防ぎ医療費の適正化へ
	ジェネリック医薬品の使用促進
	高齢者の服薬情報提供事業
	向精神薬の重複処方防止に向けた取組みの継続
	マイナ保険証の利用促進等
(2)保険料収納率の向上	口座振替原則の徹底による現年収納の健全化
	効率的な催告、財産調査、差押、執行停止の実施
	外国人滞納者対策の強化
(3)外国人被保険者への対応強化	国民健康保険制度の周知
	入国管理局との連携
(4)制度改正対応	子ども子育て支援金制度への対応
	延滞金・還付加算金の開始